

平成31年度松田町一般会計予算について(討論)

反対討論

小澤 啓司 議員

平成31年度の一般会計予算案の中に、小学校設計委託料が含まれていることから、反対の立場で討論を行います。

我が国経済の将来予測において、消費税増税による消費不況と貿易摩擦や人口減少による経済成長の鈍化は、長期にわたり継続するおそれがあります。

町の平成31年度一般会計予算書からも、町税の減少傾向や物件費に占める賃金の上昇、委託料の大幅増加など財政の硬直化が進んでいます。

自主財源率も45%に落ち込み、自律的な行政運営に陰りが見えています。人口問題研究所の資料からも、2040年には松田町の人口が7,300人と予測され、中でも小学生の人口は、寄地区を合わせ現在の416人から252人、40%の減に、生産年齢人口は5,865人から3,503人、48%の減になるとされています。

長期的な視点で見ると、町税収入の減少により財政規模は大きく縮小し、高齢化による扶助費の増加と併せ財務内容の悪化が予測されています。このような状況下にある中で、町は町民の要望があるとして、当初計画に沿って小学校建設と新松田駅周辺整備事業を、今年度から2026年を目途として短期間のうちに実施しようとしています。

これら事業費の総額は約45億円、借入金総額は約

26億円に上り、返済期間は25年を要します。毎年の元利返済額は示されていますが、判断資料として最も重要な町税収入の見込み額や、返済財源の原資については説明がありません。

小学校建設や駅周辺整備は松田町にとって、長年の懸案であったことから賛成致しますが、町財政規模を大きく超えた借入金や返済財源を示せない、事業ありきの計画は、長期間にわたって財務悪化と町民サービスの低下が予見され、この予算案に賛成することはできません。

事業実施の前段として、返済財源の確保が急務であり、その為にも停滞していた行財政改革を敢行し、年間事業計画の洗い直しや組織改編による人件費の削減、各種団体への補助金見直し、受益者負担の原則を徹底するなど、経費の削減と税外収入の増加策を示すべきです。

また、これら事業は町民への負担が長期間にわたって継続するおそれがあり、丁寧な説明と町民の理解が得られなければなりません。

事業には基本的に賛成いたしますが、事業規模、実施時期の見直しと返済財源について具体的に明示されることを強く要請いたします。

議員の皆様には、今置かれた現状から目をそらすことなく、真剣に討議されることを願います。

賛成討論

田代 実 議員

予算審査特別委員会報告に、賛成の立場で討論を行います。

前提といたしまして、昨年12月の第4回定例会で審査した平成30年度一般会計補正予算第6号「松田小学校等整備事業」の総事業費31億6,700万円(校舎建替え28億9,600万円、小学校入口の町道3号線改良2億7,100万円)、その財源の多くを町債24億円余(その後、国庫補助と基金繰入増で19億円余に変更)に委ねていることが賛否の論点となり、賛成多数で可決した経緯があります。

そして、新年度予算の審査では町税収入が減少傾向で推移するなか、この事業による新たな元利償還金が2026年度から年1億300万円となり、後年度の財政を圧迫するため設計段階で規模を見直し、事業費を縮小するか否かが争点となっています。

松田小学校建替えにかかる大規模事業は、2019年度から2022年度までの4か年にわたるものです。そして、小学校の入口に通じる町道3号線が非常に狭いため、登下校時の児童や地域住民の安全を確保する目的で、現道4mの幅員を7m(歩道2m・車道5m)への拡幅工事が計画されています。この町道は、本来であれば相当以前に完了すべき事業ではなかったのでしょうか。

町が優先すべき事業は義務教育施設の整備と運営、町民の福祉向上です。松田小学校建替えは、義務教育施設の整備にとどまらず、学童保育や放課後教室、地域の方の学びの場、さらに災害時の避難所や災害備蓄倉庫も備えた「町民のための防災拠点」という側面もあります。児童数に見合う規模と地域に開放され災害時の拠点施設の整備には、19億円余は必要な町債(借金)です。この町債を少しでも減とするため、町はクラウドファンディング型ふるさと納税の呼びかけを行います。公債費比率は一時的に11%となり財政状況は厳しくなりますが、町の体力から福祉の質を低下させずに乗り越えることができる数値であり、子や孫に誇れるレガシーとなるものと確信しています。

平成31年度予算は、この4月からスタートする第6次総合計画に基づき新規事業も加えて編成されています。しかしながら、歳入面では大変厳しい状況にありますので、大型事業執行に伴う詳細な財政推計を示すことや、町有地売払収入の基金積み増しなどの条件を付して、一般会計予算に賛成しました。

議員各位におかれましては、この趣旨を十分に理解していただき、ご賛同くださるようお願いいたします。